

JUMP COMICS



ボツクス

めだか

めだかボツクス 6



「お前は何のために
生まれてきた？」

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら

集英社



9784088701066



1929979004002

ISBN978-4-08-870106-6

C9979 ¥400E

定価 本体400円＋税



ジャンプ・コミックス

雑誌 43093-06

記憶と異常を失っためだかを観察しているうちに、
これまでのプラスコ計画を覆すある仮説へと辿り
着いたくじら。仮説を実証する為に、都城の協力を得て
めだかに別人格を埋め込むという新たな実験を始め…!?

MEDAKA-BOOK



西尾維新
NISHIO SHIN

「『めだかボックス』を読んで僕も記憶喪失になりました!」という読者様が見れるまで頑張ります!」
「記憶を失う漫画って…」

JUMP COMICS

めだか
ボックス

めだか
ボックス

めだか
ボックス 6

原作・NISHIO SHIN
西尾維新

漫画・AKATSUKI ARIMA

暁月あきら

黒神めだか、
十三年前の記憶——!!

週刊少年ジャンプにて
人気沸騰中!!
第6巻!!

漫画 原作 西尾維新
暁月あきら
集英社



9784088701066



1929979004002

ISBN978-4-08-870106-6

C9979 ¥400E

定価 本体400円+税



ジャンプ・コミックス

雑誌 43093-06

記憶と異常を失っためだかを観察しているうちに、これまでのプラスコ計画を覆すある仮説へと辿り着いた。仮説を実証する為に、都雑の協力を得てめだかに別人格を埋め込むという新たな実験を始め…!!

「普通」と「特別」と「異常」の物語! 累計、続々重版中!!



目次欄に追加された生活の知恵が満載! 大賞受賞第1巻! 目次欄に追加された生活の知恵が満載! 大賞受賞第1巻! 目次欄に追加された生活の知恵が満載! 大賞受賞第1巻! 目次欄に追加された生活の知恵が満載! 大賞受賞第1巻!



大変今さらですが携帯用音楽プレイヤーを買いました。

基本外へ出ない性格なので、いないや、と思っていたのですが、お店で見ても最新機種、あまりのスペックの高さに、フラフラと衝動買いをしてしまいました。

以来強制的に集中したい時など、大変重宝しています。

もっとも週刊の半分はアシさん達が来るので使えないのですが(笑)



「めだかボックス」⑥

ISBN978-4-08-870106-6

JUMP COMICS



原作 西尾維新
漫画 暁月あきら



MEDAKA-BOX

めだか
ボックス

めだかボックス

6



原作 西尾維新
漫画 暁月あきら
集英社

6



「お前は何のために
生まれてきた？」

ジャンプ・コミックス



集英社



集英社

原作 ● 西尾維新
漫画 ● 暁月あきら

週刊少年ジャンプにて
人気沸騰中!!

第6巻!!

黒神めだか、
十三年前の記憶——!!

原作 西尾維新
漫画 暁月あきら
・ 集英社

「普通」と「特別」と「異常」の物語!

既刊、続々重版中!!

定価
単巻 420円
(税込)







1 冒険に挑んだ黒神めだか
が初めに大活躍する第1巻!!

2 4人の超能力者! 神
魔の力が決つていく第2巻!!

3 最強の超能力者! 黒神めだか
が初めに大活躍する第3巻!!

4 めだかの兄・黒神の超能力と
は? 地下へ向かう第4巻!!

5 死闘! 黒神の超能力と
は? 地下へ向かう第5巻!!

「めだかボックス」⑥
ISBN978-4-08-870106-6

★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

JUMP COMICS 



原作

西尾維新

漫画

暁月あきら

「お前は何のために
生まれてきた？」



人物紹介

めだかボックス



恩魔王士



古賀いたみ



名瀬天歌
《黒神くしら》
テ



行橋未造



宗像形



高千穂仕穂



雲仙翼利



黒崎陽美



黒瀬計吾



雲仙翼加



黒神真里



黒神めだか

所属：一年十三組
学年：13歳
血液型：A型
身長：155cm



人吉善吉

所属：一年一組
学年：11歳
血液型：AB型
身長：155cm



阿久根高貴

所属：二年一組
学年：12歳
血液型：AB型
身長：155cm



喜界島もがな

所属：一年十一組
学年：11歳
血液型：A型
身長：155cm



不知火半袖

所属：一年一組
学年：11歳
血液型：A型
身長：155cm

STORY

ストーリー

黒神めだか率いる「黒神学園生徒会」のメンバー、阿久根、喜界島が加入し、現在は四人で活動中である。学園生活に危機に陥る「フランスコロン」を倒すための地下研究所へ乗り込んだ生徒達は、地下三回廊で「十二組の十三人」の古賀、名瀬と邂逅する。戦いの果て、名瀬が行方不明の黒神美少女・くしらであることが判明し、くしらにいたる真実は家に居るよう説明を試みるが、真実を隠しワウチンを投じられしまつ、さらにくしらに襲われる。めだかは真実と記憶を失ってしまう……

MEDAKA

CONTENTS

6

第44箱	「もう逃げるしかねーぜ」	7
第45箱	「ショートカットできるんだから」	27
第46箱	「誰だ お前」	47
第47箱	「みんなばかだ」	67
第48箱	「『十三人』の中で誰よりも」	87
第49箱	「ではありません」	107
第50箱	「めだかちゃんの敵だ」	127
第51箱	「だったら私に教えるがよい」	147
第52箱	「お前は何のために生まれてきた？」	171



BOX

「フランスコ計画は
黒神くじらこと
名瀬大蔵のポリシーは
「やりあえず試してみる」
というところに尽きる

「失敗を恐れないでいいが
失敗するほど遠方に近づく」とまで
考えている彼女には

基本的に
「うまくやろう」とか
「用心深くいこう」とか
その手の発想が一切ない

第44箱

「もう逃げるしかねーぜ」

そして、突然
「聞いてもない
兄や姉に」
あしたる悪い入れが
あちはずもなく

彼らも
「異常不眠や記憶喪失に
陥れたことも 単に

「剣角だから
手持ちの道具を
試してみよう」と
思っただけだった

そもそも彼女は
右翼が阿久根に負けた時点で
自分達は失敗した」と
シビアに認識していて

今の展開は本音で
「このうさぎ」
過ぎないのだ

だが
彼女のそんな
「ものは試し」が

フランスコ計画を
次なるステージへと
導くことを
この時点では
誰も知らない――



めだかさん！
しっかりしてください！

鉄眼の記憶力を誇る
あなたが記憶喪失だなんて
そんな真逆な…

俺です！
わかりますよね？



うむ わかる
ちゃんと思えて
おるぞ

!!

十鳥くん！
だよな？

誰ですか
それ！

なんで二こで
知ったかぶり
するんです？



…真黒さん！

たかが鉄眼一本で
こんなことが
ありえるんですか？

いや

記憶を消すこと自体は
簡単なんだよ
阿久根くん



ほらよく
見てください
俺ですよ！

中学生の頃
あなたを毎日のように
フルボッコにした
阿久根真黒ですよ！

阿久根くん

それはどちらかというと
忘れておいてもらった方が
いいんじゃないかい？

科学的に人間の脳は「忘れるマシン」であるから、

記憶喪失と脳の切りを
連座にひくことで、やれば
記憶や感情はある記憶
操作できるんだ。

記憶制御そのものは
古くから研究されて
今じゃ一般的な特殊でも
実用化されているよ。

もつと

めだかちゃんが高特性を
押し出しているから、
何の効果もなかったであろ
うけどな。

問題は

どの程度まで
記憶を消されたのかと
いうことなんだが――

それを調べている
時間は なさそうだな

!?

古賀さん……
よせ！

きみだってもう
とっくに限界の
はずだぞ!!

うん、もう
限界だよ――

だから
本気を出す！

もう我々金剛には
付き合っただけないし――

ボキ

ボキ

天井に張り付いたり
逆立ちしたりしながら
戦ったりもしない！

地に足をつけて
真面目に戦えば
私は誰にも
負けななんだ！！

「うっちゃんたよ。」



ふん

事情は飲み込めんが
我々に被害を加えようと
いうのなら

どうやら戦わざるを
得ないようだな

！！

めだかさん！
記憶がないのには？！

そうか！

記憶と人格は
別物なんだ！

記憶を失えど
めだかさんは
めだかさん！

そういえば、名瀬さんだって
性格は昔と変わっていない
らしいし！

そういうことですよね
真風さん！





「いや
その通りでは
あるんだが」

「だけと」

「ふん、その通りなら
めだかちゃんはずいぶん
賢明うとほじない」



「苦労関係の機嫌を両後に
「エネルギ」切れた瞬間の古賀さんと
戦おうなんてのはもう
他人の皮に立つため生まれてきた」
「妹方も敵も大層にじたい
主従各長軍神めだかこいえない」

「今のめだかちゃんは
単純に貴家の会話から
敵と味方を判断し
導りがかる火の粉を
まおうとしているだけだ」



「それはそれで
勝利だけれど
つまるところ
貴族を守ろうとす
敵を大切にしようとし
思っちゃいない」

「戦術的にあける
は、貴族の反撃だ」

「無神めだかという
人格を形成した
十五年間を」

「十三年間のあの出来事を
忘れてしまっているこ
うのなら」



「今のめだかちゃんはずいぶん
からうほど」

「ただの
それっぽい
残響に過ぎない——」



「ニ、イ、イ……」







異常性の方に
関して言えば
バトルの最中に

既に戻ってる
はずだぜ



どういう
ことだろー



あなたの解放だって
戻ってるなら
風神真黒

ばっくれてんじや
ぬーよ

まだ回復してぬー
フラして
俺を助断させよう
ってか？



フラスコ
計画

解すかしながら
未だ通脱って
わけさ

だから最初の痛みで
ショクタ死さえしなきゃ
もとより解毒剤なんて
必要ぬーんだよ



いやーそれより
その話が
真実なぐすねばー

じゃあぬだかさんは
なんのたがにー



どーもこーも！
だから未完成だっ
つったろー

アブノーマル強しの
ワタチンとか！
そんな都合のいいもんが
簡単に調合できりゃ
苦労しぬーよ

そもそも通ってのは
継続的に打ち続けぬーと
効果がぬーんだ

一粒で永遠に
動き続ける
風神薬があるか？

そううー
黒神めだかはアブノーマル状態でも
かえり攻撃の素質がやんに
負けたってことだ

つまり

理事長を始め
保護はみんな
動員してたのさ

どういつもこいつも
黒神めだかの破壊本能を
異常性にばかり
目を奪われていたが

むしろ重視すべきは
その異常性を支えていた
人格だったんだ

人格——いや

「心」と呼んだ方が
いいのかな

そんなことは
傷でじっくり検討すれば
いいだろう

かきろ

くじらちゃん——
いや、お前ちゃん

完全に
保護の負けだ

だからもう
めだかちゃんを
隠してやってくれ

そーは
いかぬーな

そこまで
わかった以上

もう一個
試さなきゃなことが
あんだろーが

試さなきゃな
ことだったとさ

それは——一体
……どんな実験だぞ

決まってるだろう

じゃあ
黒神めだかの身体に
別人格をぶち込めば
一体どうなるのかっつー
実験だよ

!?



別人格……!

馬鹿な!
そんなことは
さすがに不可能だ!

記憶を消すのとは
わけが違うぞ!

フツーはな

だけど
あの人が
いるだろう

あんたが
現代
コンビ隠ってた

「人文支配」の
能力の使い手がより



都城……

王土つ

……!!



そうと決まれば
善は急げだ

ばいばーい
大好きな
お兄ちゃん☆



そう!
地下十三階に
お住まいの
あの支配者様は

記憶が戻る前の
鬼神ならば
簡単に凍結してくれる
だろうぜ











「十二組の十三人」……

「最初の呼び出しに
応じてはなかったが、
愚神については
無関心ではあり
思っていたが」



こいつらは強いとかじゃねーんだからよ



もう逃げるしかねーぜ
生徒会執行部！

逃げるだってや

正氣せいぎで言いっいてていいるるののか
ひとふし

逃げるとは
言ってますよ

一旦逃げて
地上に戻るって
ことです

同じことじゃ
ないか!!

見直ったぞ人吉くん!
めださんが困われていると
いうのに!
しかも事態は、刻を争う――

わかってますよ
そんなこと!
でも環境はどっぴりですわ

俺はボロボロ!
あんたもボロボロ!
真黒さんまで
ボロボロだ!

この状況で俺達が
めだちゃんを助けるためには
一旦逃げて策を練るしか
ないでしょう!!

古賀先輩と名瀬先輩を
含めなけにしても
「十三人」はあと八人も
残ってるんですよ

それを全部「書生」に
押しつける気ですか?

めだちゃん一人だけを
助けられりゃ
それでいいわけじゃ
ないでしょう!

俺達は生徒会執行部
なんだ?

俺達学園に言う
全生徒を助けるために
活動してやることを
忘れなれてください!

さっ……

「ケッ」
相変わらずだな
チメーらは

この状況でも
助けることばかりで!
ちよつとは助けてもらおうとか
思わぬのかよ?

えっ
…!?

なんで
あんた達が
ここに…!?

なんでって…

自分、不審な
人物ですわ
人吉くん

いやに
大事な使魔が
困ってるので
不知火さんに
教えてもらって

おひさし
おはようござい
ますわ
おはよう

90788

887647808
8865

何とかなるには
あれか?

そんな悪い奴らに
負けた覚えはない

お前達を倒すのは
この俺だーか?

それを言ったら
僕達は全員、生体金に
負けてるだろ

普通に
友達を助けたいで
いいんだよ

ケケケ!
まあ、理由とか
関係とか
いいだろうが!

まずはカッチョヨク
登場シーンを
決めさせろや

参上!!
負け犬軍団







轟 明

所属：三年十一組
役職：元風紀委員長
通称：「反則王」



鬼淵 針音

所属：一年三組
役職：風紀委員
通称：「半蔵マリケン」の鬼淵

ばっ…
馬鹿なっ…!



轟仙 翼加

所属：一年十三組
役職：引きこもり
通称：「轟仙郎」



轟 形

所属：三年十三組
役職：「十三組の十三人」
身体名：「枯れた樹海」



轟千穂 仕種

所属：三年十三組
役職：「十三組の十三人」
身体名：「神毛市」

どうして
あんた達が
ここに…っ!?



轟仙 翼利

所属：二年十三組
役職：風紀委員長
元「十三組の十三人」
通称：「モンスター・サイルド」

だい はこ
第45箱

「ショートカットできるんだから」

あんた達は種か
生徒会との
戦いに敗れて
死んだはず!!

死んで
ねえよ(怒)。

どうしても何も！
あなた方がピンチだと
いうからわざわざ
助けに来てあげたんじゃ
ないですか！

そうそう！
不知火ちゃんから
救われてもうてな！

不知火…？

不知火！

つまりあいつが！
電車のために学園中を
駆け回って
みんなに助けを求めて
くれたってことですか…？

いや
ツイじター！

生徒会ピンチ。
メンバー揃おう。

揃おう!?

あら
知らなかったん
ですか？

騒動生のはとんどが
フォローしている
人気のツイッターですよ

いやちよつと待て！

それなのに助けが
六人しか来ないって
逆に少ないだろ!!

えーマジで？

生徒会の支持率
88%ってあの設定
なくなったの？

ケケケ！

まーテメーらが
ピンチだとかいう
デマっばい情報を
煽動みにする生徒が
まずいねーんだろ

ちなみにオレは別にタマーらを助けに来たわけじゃねーぜ

風紀委員長としてノ

学園の平和のためにタマーらの不始末を片付けに来てやっただけだ

偉っ

いやあややあめだかちゃんはお前の身代わりで「アリス」計画だ



黒神とは明日遊ぶ約束をしたからな

拉致されたってんなら助けにいかないわけにいかねーだろ

そうだね

僕も及ばずながら力になろう

お前ら仲間になんのか

私は知りません



971246718
641847104
141412481

7912841212
4189797914
6194861284
124



お前いいこと聞ってる

お前いいこと聞ってる

お前いいこと聞ってる





おいおい
きくちゃん

ここであんなに
下ネタとか
やめろよ

おれがあの娘と
いるんだから

おれらも

面白いこと
言ってた!!



全くきくちゃんは
油断したら
おっぱいの話しか
しぬんだから!

おれがあの娘と
いるんだから

きくちゃん



おれらも
不倫とかおれらの
悪癖はどめたいわい

高千穂先輩

来てくれたのは
嬉しいですけど
しかし状況は
全然好転してませんよ

高千穂先輩や赤松先輩は
言うまでもなく
先輩や先輩のお姉さんにしても
股の下はボロボロでしょうや



高千穂先輩だって
背中を痛めてる
はずだし

先輩は種族人が
増えたような
もんですよ



無事なのといえど
鬼退治らしいの
ものですが

?



寂しうよ!!

はい

人吉くんが
私をどう思っているかは
察しました

ユラ

地下四層に落ちただけで俺達は壊滅的なダメージを受けてます

我々の部々あめじゃ地下十三層までなんてとても通る重くない……

ケケケノ
顔に似合わず意外と豪傑氣に流されぬ一級だな

しかし
そのタールな目で現業を見ろや

オレはあいつらのことをよく知ってる

すぐに助けに行かぬーと鬼神は手遅れになるしひいてはフラスコ計画が完成しちゃうんだ

そうだったら生徒会どころか――学園学園そのものが壊滅するぜ

……それがわかっていたからこそ

きみは風紀委員長としてフラスコ計画を

内偵していたとでも言うつもりかい？

そんな、実はいい奴しみてーなことは言わぬーよ

ただ確かに鬼神ならオレに代わってフラスコ計画をぶっ潰してくれるんじゃないかと期待してた

だからオレは肩を離ろしたみてーな気分だったんだけどな

ケケケノ！

まーそれ以上……俺達すんのが嫌ならもう帰っていいぜ人吉くん

あとはオレ達チーム負け大が引き継いで

フラスコ計画をぶっ潰してやるからよ

オレは鬼神なんて本筋にどーでもいいんだけど

ブルッてるテマーに代わってしっかり助けてきてやるから安心しな

.....
そういふとき
言ってるんじゃないノ

あんた達が
無事じゃ済まなけって
言ってるんだノ

はあ？
ナメーに心配される
筋合いはねーよ

オレ達はそもそも
生徒会の敵なんだから
はつとけや

演し合ってくれりや
ラッキーくらいに
思つとけ

ああノ
俺だって
そう思いたいのさノ

だけど
自分のために
誰かが働いたら

めだかちゃんは
絶対に
泣くんだよ

だけどノ

俺は
もう二度と

めだかちゃんが
泣くところなんて
見たくない！



全ての敵を蹴散らしながら
地下十三階まで
降りてくるものだ
と期待していたが

たかが地下階に
居るとは
正面がっかりだな
鬼神めだか

そう言っ
てやるなよ
王土
えへへへへ！

名瀬は結局
車柱を手を
使ったみたいなんだからね！

何にしても
名瀬の気持は
面白いよ

それが本意なら
これまでのフラスコ計画が
無に帰すくらいにね

ふん

「異常者を異常たらしめているのは
その異常性ではなく――
その異常性を制御する人格である」
だったか？

確かに笑える
気持ちはある

えへへ！

人格じゃなくて
「心」だって

名瀬は言っ
てたよ

心がゼロ状態の
鬼神めだかは
まるつきり
弱っちゃった

だから劉の心が
インストールされた場合は
どうなるのか！
それが知りたいんだってさ！

「やれやれ
気軽に言っ
てくれる

劉の心とか

洗脳というのは
そんな簡単な理屈では
ないのだぞ！

まあよからう
やってみよう

でどんな心しを
インストールすれば
いいのかな?

名前は任せあって
言ってみたよ

色々試して
みたいらしくてさ

そうか
ならば

王好みの
心にしよう

王以外の誰にも
くつ 屈することのない

おれ つま みをわ
王の妻に相應しき
きくい 悪意に満ちた心を

いだい 偉大なる俺は
おれ けつこんゆびわ
結婚指輪のごとく
おまえ おく
お前に贈ろう



ゆえに
「十二人」総出で
全力で俺を守れ

本入りに
行なうとして
千八百秒かな

その間
俺は無防備だ



えへへ！

まー
がんばりなよ

ちなみにどれくらい
時間かかりそうだい？



えへへ

まあね



ほう？
お前が動くのか

繰出と言っても
お前には期待してなかったが

何かピンとくる
資料でもあったのか？



りょーかい！
東宝博覧会が終わり次第
古賀と名義にも
出るよう伝えとくし

そうだね
ボクもたまには
働こうかな

くる



おいおい王士

一戦にすぎなよ

名前はのぼる

ボクのは仮面だ



ふはっ！
珍しいことも
あるものだ――
ならば好きにしろ

とはいえ
精々

名前のことく
素顔を暴露かれんよう
気をつけることだな





どーせそいつら全員
ショートカット
できるんだからよー

って！

なっ……!?

『裏の…』

『六人』!!

にひひひひ
ビンゴォノ
エレベーターで
ワーアなんて
こすい乗性者の
考えそうなこつたぜノ

だが生憎
私達にかかっちゃあ
その程度の作戦は
お見通しなんだよノ

おのの…

超可憐な
お目入んこノ

そのやそこらだノ

……
知ってる副が
ひとつもない

どうやら理事会は
副が抜けてから
大抵じみダバノを
刷新したらしいな

人数では「こいつ」が
勝っているが
人海さんの言う通りだ
大抵が怪我入
どうする!?

つーかおい
雲仙 満千穂
宗像アノ

なんでそっち側に
立つてんだよ

ひょっとして
裏切ったのか
お前ら!!

「裏切ったんじゃない
裏立つたのさ

それに

「六人」と仲間だった
つもりはねーよ

かーノ
悲しいこと
言うねーノ

んじや
しょーがねー

敵としてノ
改めて挨拶
しとこうかな



糸島軍規だ

海軍軍艦だ

沖良へしてね

百町破魔矢
なる者です

筑前優馬……らしいんだ

沖良へしてね

鎮西路に海軍の

上峰曹子と
申します

沖良へしてね

沖良へしてね

沖良へしてね

沖良へしてね



おい、人吉……

状況が変わった
予定変更だ



ここはオレ達
チーム負け犬が
引き受けるからと

テマールは隠路で
地下十層階まで
向かえ！

!?



なっ
何を言ってる！

こいつらが横って
ここに来た以上
今なら最下層まで
はばがら空きたぞ

地下一階の通路で
手回車らなきや
鬼神の洗脳には
ギリ間に合うだろ

黒い黒いうなノ
あんた達を置いて
行くなんて
できるわけ

るっせえ
ボケノ

足手まといだから
消えろっつてんだよ
グ

既に問題はフラスコ計画が
ビーヒかじやなくて！

オレ達がこの場を
どうやって生き延びるか
つて
ことに変わってるんだ！！

………
さすがのオレも

この六人を
同時に檻に閉すなんて
考えたこともなかったぞ

わかってねー
ようだから
教えてやるが

オレ達は今
絶対絶命の
ピンチなんだノ

このピンチを
切り抜けるには
思ひ切りが
鬼神の力が必須だ

チメーラがさつきと
鬼神を助けてノ
あのバケモノ女と一緒に
ここに突っってくるしか
ねーんだよグ



ありがとうございます
雲仙先輩！

恩に着ます

すぐに戻るから
それまで持ちこたえて
ください！！



私達を助けるために
なれば
怪我してよくて
危険だろうと
迷いがありませんね
生徒会執行部！
なんと！というか本当に
助け甲斐のない人達
ですよ



——意外と演技が
うまいんだね
雲仙くん

学生会で
主役を張れるよ



敵に回すことを
考えたこともないだ
なんて、嘘つけ!

お前はいつだって
「六人」どころか
「十三人」全員を敵視
してたじゃねーかよ

そんなに生徒会を
気兼ねなく送り出して
やりたかったのかや

タタタ!

意外と
えーとこあるやん
露伴くん

………
連一よボケ

だからオレを
「真はいい奴」
みてーに
言ってんじゃねえ

ただまあオレは
十歳だろーと
先輩なんてな

後輩の涙にや
弱いんだよ

阿部か
逃げてしまいましたね
どうしますか

と一瞬
「阿部の
逃げたこと」
を思い出した

あーこのとき
生徒会が
逃げたのじゃ

阿部の
逃げたこと

阿部の
逃げたこと

阿部の
逃げたこと











いきなり
機関銃だ



うおおおおお
おおおおおっ！

MECH
P7
H&K







ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレージは
70前後だぞ！

ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレージは
70前後だぞ！

ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレージは
70前後だぞ！

ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレージは
70前後だぞ！

ボウリングなら
俺が付き合おう

ただし俺のアベレージは
70前後だぞ！



!?
SASUKE
— 7歳8ヶ月 —



!?
SASUKE
— 7歳8ヶ月 —

星紀委員会
第三部隊隊長
廣清計画ノ
あなた方を
廣清します!!

学園の平和を
一途に目指してノ

星紀委員会
第三部隊隊長
廣清計画ノ
あなた方を
廣清します!!

学園の平和を
一途に目指してノ







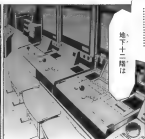
あか
地下十二階の住人
行橋未造

「トニー」人きつての進化を
果たして生徒会執行部は
突破できるかどうか――



……
地下十二階は

いよいよ
ゲームセンターと
きたか……





それより早く地下十三階への階段を見つけないと――

「そんなことを解析している時間はないでしょう真生さん」



「さすがにこれは僕にも意味がわからないな」

どうしてアラスカ計画にゲームセンターが必要なんだ？

機械替えにも程がある――

ゲーム機の研究でもしてるのか？



ひらよし人吉！あそこ！！



めっ…

めだかちゃんか…!?



あれ？



あれ？



めだかちゃんか
半裸で助すかしい
とかっ

まして

を落としたいとか
置つかあ——っ！！



お前

っ！！





まあそっちは
お兄ちゃんには

最初から
バレてたみたい
けどさ



あー！
そういや興元閣いたお殿とか
着てたねあの子！

そうか、彼女は
露出狂だったわけ

えへへ
失敗失敗！

うっかりしてた
だけなんだからね！



!!
ひょつとして
その飯屋！

あんだ
あの時の…



昨日
食べたばかりなのに
ボクのこと
忘れちゃった？

おいおい
冷たいなあ
人吉くん



…もう一度だけ
聞いてやるぜ

誰だお前？



そう！
ボクは行樺末造！

三年十三組の
『狭き門』だよ
えへへへへ！



アキアキ

アキアキ



「仮面先輩を殺して
こいつが……」

「十三組の十三人、
最後の一人か！」

ふん——
変身能力とは驚いたな

十三組のアブノーマルも
いよいよ
怪能力じみてきたね



おいおい
早とちりするなよ
阿久根くん

変身は
普通の特技だぞ

ボクが誇る
ボクの異常性は
他にある☆

他にある☆

……でもいーよ
そんなもん

行儀先輩！

あんたには昨日助けて
もらったけれど

今日のあんたは
情達の邪魔をするために
登場したと早くて
いいんだよね！



んーまー
そうだね

黒神さんの依頼って
あと十五分くらいで
終わるから

その場でだったら
通してあげてもいいんだけどー

……
いいかげんにしなさいよ
あんた達！

よってたかって
年下の女の子いじめて
何が楽しいのよ！

バツカみたい！
プラスチック画って
そんなに大事なやつ？

えー！
いや別にー

ボクは
プラスチック画なんて
全然興味ないよ

!?

なぜなら
ボクの興味の対象は
この世でただひとり

都城王土という
絶対者だけ
なんだからね！



王土くんか

じやあ、あふは
王土くんに誘われて
フラスコ計画に
参加したということかい？

「きみは」じやなくて
「きみも」だろ？
黒神真黒

ハジメテシヤ

ボクの前は
お前があいつの相棒
だったんだからね！



お前は絆を断すために
フラスコ計画に参加したって
言っただけじゃないんだろ？

都城王土という
無情無義な化物に
お前は間違ひなく
惹かれたはずなんだよ

だからこそ、嫌でもない嫌と
思っただけじゃない
バディを助んだんだよね

驚くことはない
ボクも同じ気持ちだよ

ボクのフラスコ計画における
モチベーションのすべてが
あいつなのさ







ああそうか

そういえば
君だけはまた
無傷だったわ



しかしこの催眠ガスが
充満する中
立ち上れるのは
どういうわけだい？

呼吸なんて
一か月くらい
止められるよ

だって泳ぐの
とくいだもん



負け犬軍団とか

ネーミング

正徳キツ



鶴のついでに

止めるれるわけ

しん

都合のよいことに
金計がいなくて
困っておったのだ

助けてくれ

そんな腹に
黒神さんなら
関わって

私は理事長から
生徒会執行部に
出向した

球座

第47箱 「みんなばかだ」

だけど
そうは言っても
最初の間は



元副部長とまで称される
黒神さんだ
私なんかの方が仕事量の方
どうかは多いに違いないだ

でも

なあ
世界屋敷計

今、水中運動会の
結果を受けて
部費の前り廻りをしな
おるのだが――

野球部とは
一体

何をする
部活なのだよ？

黒神さんは
だまに

噂はめんどくさい
ものを聞かなくて



そんな事で
普通に本音が通んでれば
身につく距離だって
いっしょにでも

ああ！
あの手でする
キックペースか
！

思える野球が
キックペースか

なばさつ

黒神さんは知らないままに
生きてきたんじゃないか

もちろん説明すれば
すぐに理解し
身に付けろのだが

しかし
説明しなければ
わからないことが
幾層あるのだ

たとえば彼女が
遠距離というものを
知らなかった

遠距離や

なんだそれは

リンベムやアがいる
大抵の本屋の
名前や

人雷くんや阿久根さんは
そんな告知を
「胸の大きさ」
とらえている確はあるけど

私には そんないい胸には
断断でなかつた

それは
遠距離

人の距離を神憑するようね
「上から目線」を徹然にしていたって
距離はあるかないやなくって

単に胸のあんが
源文を神憑するおまわりだ

私も胸を絞めて「なかつた」だけのやつだ
私には思えた

とある日曜日
偶然を出して黒神さんを
遠距離に憑つてみて

私の思いは
遠慮に変わる

あははは
はははは
！

これは
楽しいなあ！

この子は
私と同じ年の

普通の

十五歳の
女の子なんだ

だから私は

絶対にあなた達を
許さないんだもん

フランス回けーかぐたが
なんだが知らないけど

そんなわけのわからないものに
女の子の人生が台無しにされて
いいはずがない！

第47箱

「みんなばかだ」

と

生徒会執行部食料配
置原島もがなの
そんな想いを読み取り

うーん

困ったなあ

と
行橋未道は
思った

人の心を読む。

突然雷が落ちようと
それが十三歳の十三人の要
矢張り門の行橋未道が
生まれた瞬間に燃える異変だった

秘密に言えば

「心を読む」のではなく
「思考を読む」のである

脳筋及び神経が
活動する際に
電気信号が流れることは
これまでの実験の中で
既に述べたが

その時発せられる
体外に漏れ出した
電磁波を行橋は
皮膚で受信するのだ

だから
「テレパシー」というのとは
少し違う

その異常性は人間よりもむしろ
電磁波の塊である精密機械を
相手取ってこそ
発揮できる才能なのだから

あるがままの生身で
アンテナのごとく
敏感に電磁波を
受け取れる行橋は

いわば人間が機械に
匹敵しうる可能性なのだ

だから地下十三階は
ゲームセンターを模して
造られている――
最新技術の結晶である
道場施設において

行儀は日々
己の受領感度を
磨いているのである

ちなみに
演習している仮面も
実はそのためのものだ

皮膚感覚に集中するため
行儀は世界をあえて極端に
狭めているのだった

……
……

この頃の……は
正真正正、完成
……

私が読めるってだけで
別にボクは数うぬじや
ないからね

ぶつちやけ
体育会系ゆいからも特待生の
彼女とバドミントン入るのは
好まじくないんだよね

今は顔に面が上つてるみたいだけど
冷静にならねばなら
堪える三人を怒らせるかねないし

辛い無酸素ガスは
まだ蓄積してるみたいだね

ここはもうちやうど
彼女を……
呼吸を閉めてみるか

わえ
黒神さん

君は黒神さんのために
立ち上がったみたいだけど

君がそこまで
がんばる必要って
本当にあるのかなさ

黒神さんが
普通の女の子
だってさ

そんなことを
思っているのは
世界で誰だけだよ

あのバケモン女を
女の子扱いするなんて
ちやんちやらかしい



だまれっ





わるくち
言わないでっ!!

私の
ともだちのっ



250メートル——
実に四分の一キロを
無呼吸で泳ぎきる
青界島の跡は

内閣というよりは
既に兵器に近い



青界島のめだかに対する
真摯な気持ちを読み取り

「怒らせて」「囁かせて」
「ガスを吸わせる」というのが
行橋の計略だったのだが

ぐっ……

しかし青界島の
怒りと熱量は
行橋の計画を凌駕した



しかも今回は
地下一階の迷陣改修の際
放ったのは違って
声を方向付けている

喉と口輪を
密着代わりにし
遠吠えさせず
凝縮させた声量は

波状ではなく直線として
振動ではなく物体として
行橋の身体を
目撃したのだった

もっとも、世界最の影りに任せた
この「暗鳴り」は
攻撃としては成功でも
行為としては失敗である

所詮、声は声——
決定的ダメージを
与えるには足りないし

普通に大声を出していれば
それで脇に眠る三人を
起こすことができたかも
しれないのに

そして
何よりの失敗は

あ

ガッ

うん

しまった

ねむ

考えなしの行動は
ボクにも認めないからわ
——
置きはしたけど

んへへ

まー
囁くのも怒鳴るのでも
差をなさやいけないことは
違いはないんだからぬ！

うん！
電燈塔が壊れていくのが
わかる

深い影に落ちる
実像だ

少し手前取つてけど
これで王士の悪魔君は全滅し付け

バキッ

うがああああ
あああああつ!!



海をかけたいたる所が
いきなり燃焼した

いやー
というかあのあのあの全盛を返さ
この瞬間は





生川を釣がして……

黒塚天晴「おれが
飛はしたのがい」



なんでそこまで
がんばるんだよ

喜界島さん

!!



いや——どうもか
最初は敵対さえ
してたじゃないか

なのにどうして君は
黒神さんのために
そうも身体を張るんだい？

君が黒神さんと
知り合ったのは
つい最近だろう？

妹なじみの人吉くんや
同士の阿久根くんとは
違うはずだ



さっきは機嫌のため
だったけど
今度はマジで
聞かせてもらうぜ

どうして君が
そこまでしなきゃ
いけないんだ？

付き合いが長くないと
心配しちゃいけないの？

いっかい敵だったら
もう
仲良くしちゃだめ？

一度できた絆を
裏切らないのが
大切なこと

十二瀬だけだと
思わないで

えっ？

なるほど
神様！

「神様」って言うのは
食い違いはない
神様がつかないタイプ
なんだね

実はボクが「神様」だとしても
人吉くんだったらただただ
どうもボクは……

「神様」って言うのは
食い違いはない
神様がつかないタイプ
なんだね

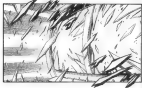
ボクの隣には異常性の
「神様」が居る前に
「神様」が居る前に
「神様」が居る前に

「私は
「神様」タイプじゃ
あっても

「神様」タイプじゃ
全然ないんだけど

それでも
友達のためになら

戦う!!





なっ……!!
割れたガラスの
破片がっ

一斉にこっちに
向かってくるだ
なんてっ……!!

一度目と違い
防壁内の空気に障りのある
二度目に世界島の湧んだ
作戦は

超高周波の
共振作用を利用した
周遊ガラスの破壊

その破片を
もってしての攻撃

敵陣向きてはない
彼女にしてみれば
現状考えうる
最良の策とはいえた

しかし



「なんだ通りじゃ
ないか☆」



「行儀には
完全に襲まれていて
通じるはずなかった」

「考えなしの
「通り」と違って
計算ずくの
「通じ」は



「いざ戦艦となれば
世界を満かに
破壊するのだ」

「互いに
バトル肉々ではない
とはいえ」

「少なくとも艦もがやっつけているような
「たかがその程度」の能力で
「十二人の十二人」に破壊された
行儀本道である」

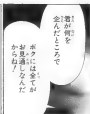
「考えてみれば
「戦手の心を破る」という



えへへ！
さすがに もう
限界みたいだね

無理しないで
もう深呼吸
しちゃいなよ

あれだけの大声を
連発したんだ！
普通でも酸欠に
なるんだからね！



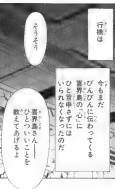
君が何を
金んだとこまで

ボクには金でが
お見通しなんだ
からね！



もう半ば
気づいていると
思うけどさ

ボクのアブノーマルな
心を読むことだ

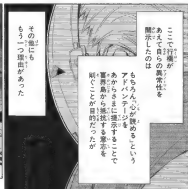


行進は

今もまだ

びんびんに伝わってくる
富界島の「心」に
ひと貫串さすには
いらなくなつたのだ

富界島さん——
ひとついいことを
教えてあげるよ



ここで行進が
あえて自らの異常性を
開示したのは

もちろん「心が読める」という
アドバンテージを
あからさまに提示することで
富界島から抵抗する軍本を
弱くことが目的だった

友達という
かんけい
関係はね

たいとう
対等な人間同士の関
せいのつ
初めて成立するんだよ

つまり
十一編と十三編の
間では

ぜい
成りつたに！
成立することは
ないんだからわ！

現実
現実とはそれ以外とは
違ふ世界が通う

本来
開かるべきでさえ
ないんだ

確かに風神さんは
今大ピンチだ

脱獄を望まれ
囚われの身で
洗脳されかかてる
まな板の上の鯛だ

だけど

だからといって
君ごときが
それを助けようなんて
悪いあがつちやあ
いけないんだよ

心配しちやあ
いけないし

仲良くしちやあ
だめなんだ



当然 十三組の中にも
格闘はある

ボクは王土の奴が
大得意だけども——
あいつを友達と
思ったことは
一度もないよ

風体であることこそが
王者の唯一の要件
なんだからね！



人吉はさ

風神さんを
守れる奴に
なりたんだってさ

？

阿久根さんは
風神さんに
負い目があった

だから 風神さんの
後で立つことが
金でなんだった



二人とも
かつこいっつあって
思うけどさ

でもそれって
どっちも

風神さんを
特別扱いしてることは
違いないよね

？
それが
どうしたんだい？

特別なもの
を特別扱いして
何が悪いんだよ

みんなが
そんなことばかり
するから

黒神さんが
どんどん一人ぼっちに
なるんじゃないか!!



人吉も
阿久根さんも!

あんた達も!

みんな
ばかだ!

すごさとか
異常さとか
そんなのばかりで

黒神さんの気持ち
誰もわかってない!!





心なんて
読めなくても

友達だもん

わかるよ



黒神の気持ち

まるで自分には
わかってるような
物言いだね



あの子は
最初から

私に
助けてくれって
言ってたもん!!



……わからずやめ

たとえ
立場が対等でも

……とは
友達になれそうに
ないな!



私は あんたを
仕留めて

黒神さんを
助ける!

そして
今度はみんなを
避難地に行くんだ!



「生まれてくる時代を
間違えた異常者」



思えば、これほど
三年十三組・行機未造に似合う
フレーズも珍しい

二千年前

とは言わないまでも
せめて千年前に
生まれていれば

電磁波を媒介にして
人の心が読めるという
行機の異常性は
世界を掌握できて
おかしくない。それだった

少人数を相手にする分に
おいてならば

その異常性は
如何なく、その本分を
發揮できるのだから

が

西暦二千年代という
この時代

機械文明が
眼まで行き過ぎ
人口が爆発した
この時代において

行機未造の「愛憎態度」が
強く結果といえは――



人々の心ならず
ラジオや電話の電波さえ
受け付けてしまうほど
感じやすい行動の身体が

こんなストレスフルな
時代に適応できる
わけがなかった



目をつぶろうが
耳を塞ごうが
鼻をつまもうが
口を閉じようが無駄だ

全身の皮膚を
剥がしてもしらない限り
その大声の不協和音から
逃れる術はないのだから

せめてもの
幸運といえは

否

何よりも
不幸だったのは

そんな悪夢のような環境に
馴えうるだけの
堅固な精神力を行儀が
持ち合わせていたことである

電磁波の海の中
壊れることも
崩れることもできず

行儀の心は
やんわりと
衰退していった

どうして

こんな時代に

生まれてしまったのか

どうして
こんな感受性を持って
生まれてしまったのか

行儀が
それを考えない日は
なかったはずだけれど

そんな疑問すら
雑音の中にまぎれて
わからなくなつて
しまった

あまりにも順々しく順々しく
何も考えられない
異常な日常生活

それが ある日

しかし
一気に

静かに
なつた



お前
まえ

人の心が
ひとのこころが
読めるそうだな
よめるそうだな

だったら俺に
だったらおれに
教えてよいぞ
おしえてよいぞ

偉大なる俺は
いだいなるおれは
一体何を考えている？
いったいなにをおもっている？

その場にいた
全員の「心」が
動いた

否——
彼の意識に
押しのけられた



「心」が
動かないはずの
機嫌さえ

彼——
都城主の前では
沈黙した

行儀未達が
生まれて初めて経験する
静寂

望むべくも
なかったはずの
それはしかし

あまりにも
暴力的な静けさだった

そして都城主自身もまた
静けさに満ちた男だった

彼の心は
聞く静かに

たった一つのことだけを
考えていたのだ



自意識というには
あまりに過剰な
自覚

このクラスメイトはあまりにも
自分のことしか考えておらず

いつもすがすがしい顔でに
環境のことなど
気にしていないかった

電磁波の海で
溺死しようになっている
行儀と

正に対極の極みのような
男だった

『ああ、そうか』

ポクは
こいつと出会うために
この時代に生まれ

ぽろ、

ポクの感受性は
こいつを理解するために
あつたんだ

だい はこ
第48箱

『十三人』の中で誰よりも

ぽろぽろ、



降参するなら
今のうちだよ
行儀先輩

私あなたに勝つ
さくせん思いついちゃった
んだから！

あなたの能力には
大きな弱点があるんだ！



やれやれ
困ったもんだね
喜界島さん

心が読めるボクに対して
作戦だなんて

それを人は
拙劣と呼ぶんだよ

と胸を張めつつ
行儀は

喜界島が
あながちハタリで
言ってるわけでは
ないことを
感じ取っていた



暴露される電線道から
刺探する限り
間違いない少女は
何かを確信している

しかし

怒りやら疲労やら
瞋怒やらで感情が乱れていて
ノイズだらけの彼女の心は
いまいち読み取りづらい

電線ガスを取替えるために
挑発したのが裏目に出たな
どうもこの手に關しちゃ
やることなすこと
裏目に逃げちや

行儀の異常性の
端点というなら
まずはこの
「感情が良すぎる
こと」である

精神の波まで
奥に入り細をうがち
受け取ってしまうので
その場合「チューニングに
手間取ってしまうのだ」

当然、喜界島は
その「まず」には
気が付いていて

だからニセ
チューニングが
終わる前に

あるいは自分の感情が
フラットに落ち着く前の
行動を起こさねば
ならないのだが

私の中で

怒えがはつきりと
まとまるのを待たず
勢いで行動した方が
いいのはわかってる

いっくん

でも問題は

私にそんなことが
できるかどうか

やつても失敗するかもしれない
私の勘違いかもしれない

それ以前に
本当は怖い

いっくん

今までの自分の
選んではいたことを後悔して
いる

たつこ

だけど、

私は

生徒会執行部

会計

喜界島もがなだ



「大量のガスを
吸い込んで、
死にちかめず
大量の毒を吸っ
ている」

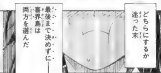
「目黒田中ひさひさ」



「声の大きさが
それとも超高音か
たつきはな」

「畜生！
こいつ、毒を吸いながら
瀕んでやがる」

「さては
吐き出す運動に
決めるつもりか」



「どちらにするか
迷った末」

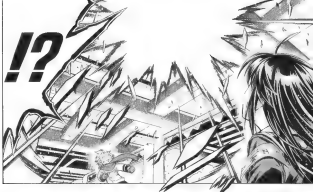
「最後まで決めますに
——
毒界島は」

「四方を避けた」



「超高音を
方向付けし
大砲の如く」

「毒界島は
天井に向けて
撃った」

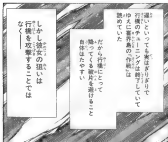


その時、
喜界島の船裏に
あったのは

地下二階における
人吉、響吉と本佐治との
実験

喜界島は
天井の蛍光灯を
破碎し

地下空間に破片の雨を
降らせたのである



しかし彼女の狙いは
行機を攻撃することでは
なく――

だから行機にとって
降ってくる破片を避けること
自体はたやすい

遅いといっても実はギリギリで
行機のサルーニングは終了していて
ゆえに喜界島の「作戦」は
読めていた

行機の叫びは
もう遅い

やっ……
やめろお!!



彼女自身の
肉体を

傷つけること
だった



うわあああ
あああああ
あああああ



壁をあげて
倒れたのは

しかし
喜界島ではなく

一枚の破片も
喰らってはいないはずの
行方未遑の方だった



はあ

はあ

がっ



『心が読める』

くらやみに

『痛い』

という『気持ち』も
伝わるというにかなのだ



心が跳ねるって
聞いた時

おかしいって
思ったんだよ

私が生爪を削がして
脱臼を癒した時——
心が跳ねるはずのあなたが
聞いてたんだもん



でも
すぐわかったんだ

あれは
私が削がした私の痛みが
あなたに伝わってたんだね

ううん——
あなたの良許過ぎる
愛憎態度なら

私よりも
痛かったはずだよ

事実 あなたは
途中から
勝手に黙ってた

痛みだけじゃなく
私の痛みや願望や
涙が伝わってた
からかなさ

痛感ガスなんて
専横だって
思ってたけど

「悪い」と思わせる間もなく
一瞬で黙らせてしまうしか
あなたには私達を
制御する方法がなかったんだ

あの手この手で
私の眼蓋を
喪失させようと
してたよね

それは本意に
掛け値なく

あなたは人を
傷つけることも
殺すこともできない
人間だったからなんだ

笑っちゃうよね

自分のことを
「十三人」の痛みみたいに
言ってたけど

あなたは
「十三人」の中で
誰よりも——





だから
私の気持ちも
わかって！

お願い

私達に
黒神さんを
助けさせて！！



あーあ 黒神！

ボクの異常性の
最大の弱点って
これなんだよな！

誰みとかチユーミンってないや
なくってさ！

「強い男好き」とか
「裏のない好意」とか
「まつすべな心」とか
そういうのが偽物じゃ無いって
わかってやうから——
もう感動しちゃって
震えなくなっちゃうんだよねあ

そう
ボクの弱点は
人間のむき出しの
心に対する
「感動」だ！





おいおい
何をそんな水着女に
感化されているのだ

まったく
お前という奴は
修り気で惚れっぼくて
油断ならん



涙でも

友情でも

自己犠牲でも
ない

お前は偉大なる他の
偉大さだけに
感動しておけば
よいのに







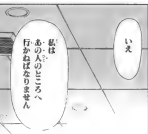
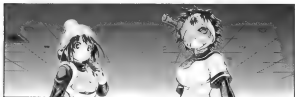
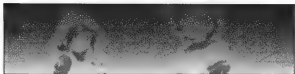
神と

呪
詠心能力により

変身能力のほうかい

呪
詠心

変身能力のほうかい



嘘だつ！

黒神さんが
もう洗脳されて
しまっただなんて…

そんなの嘘に
決まってる！！

はい
第49箱

「ではありません」

無礼なことを言うな
水無女

王が言葉を偽る
理由など存在せん

うるさいっ！

私はそんなこと
絶対に信じてないぞ！

あなたは
大嘘つきだ！！

おお
怖い怖い

今にも噛みついて
きそうな勢いだな

怖くて怖くて
たまらないから

まずは
とりあえず

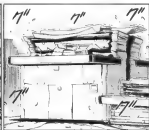
ふ

ひ

わ

せ





偉大なる
俺の前では

機械さえも
跪く

うう……んん……

身体が勝手に
動かないっ！
動けないっ！

これが
魔神さんや人古べんの
力……なんだ

魔神の力……

二人はきつて
魔眼をみだいなもの
をまきつけて逃げてはいた
でも、

魔眼初で
グーと寝て床までが
ひしゃげたりするものなの……

ふむ

水着で土下座とは
なかなかマニアックな
平伏し方で
経典が持てる

が王の御座を
誤解した舞札を
許してやれるほどでは
ないな





あつちやあ！

しまった
こりやあ死んだかな

まあいいか

黒神なら
スビーナしてくれる友達は
他にもいるだろう



ああ
そう

お前とか
いいな

えーつと
なんと言ったか
——あつちやあ



ヒトキチ



随分ぐすり
眠っていたようだ

俺の偉大さに
当てられて
目が覚めたか?



あー
おかげさんでな

ちなみに

目が覚めたのは
俺だけじゃねーぜ



ほう?





悪いが古賀さんの件で
大いに反省しているものでね
都城先輩！

このまま一瞬で！
締め落とさせて
もらいますよ——



「重宝の重み」という
そのオーミランダから！

あなたの奥義性を
俺は
「重力を操る力」と
推理する！



あなたは人や物を
自由自在に！
重くしたり軽くしたり
できるんだ！！

だがしかし！
ならばこうして一旦
遮断してしまえば！

術者自身と
重みを一体化
してしまえば！

そのアブノーマルは
てんで用をなさない



さすが生徒会一の
切れ者だな

いい推理だよ
阿久根高貴



だが外れた。

!?

魔眼とか
念動力とか
重力操作とか

お前達
バトル漫画の読み過ぎだよ

以前も言ったが
「重力の重み」など
行儀が勝手に
名付けただけだ

王の異常性の本質を
言い表してはいない

ぐっ……

阿久根先輩が
いともあっさり……

しかし確かに？

重力操作で
先鋒はできねーか？

だが俺は既に
あなたの異常性を
克服している！

重藤や阿久根先輩の
ようにはいかなーぞ！！

寛解す
奇異なことを
言うものだな

ならばどうして
お前の両手は
そんな強いことを
しているのだ？



なあ

くみかみ まぐら
黒神真黒



家など、ここで
神聖な男だ

ふはっ

相変わらずというか
益々盛んに



僕は

友達との秘密を
言いつらすような
人間じゃないよ



いいから
赦えてやれよ
真黒くん

王に聞かねばならん
自己などない



そして同時に
抜け目のない
男でもある

仲間がやられているのを
助けようともせず

すかさず身を隠し
俺の腕を突こうとは
見事なものだ



喜界島さん



きみが選り合った
行博くんは
「人の心を読む」異常性の
持ち主だったんだろう？

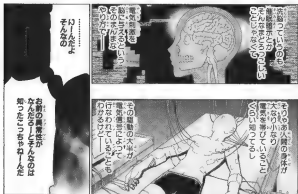
乱暴に
言ってしまったね

王土くんは
行博くんの
弟なんだよ

みんないかにわかってるよ
都城王土は

ひとの心を
読むことが
できるんだ







たとえお前が
どーゆー何
だったとしても、

だからって
めだかちゃんを
洗脳してにねことには
なんねーんだよ!!



……ふん
ヒトキチか

俺の気がよそに向いた瞬間に
うまくもがいたな
こっちはこっちらで
逃げ目のない男だ

行儀のお氣に入りである
お前には
あまり酷いことは
したくないんだがな

お前、ひょっとして
偉大なる俺が
鬼神を洗脳したことそ
を察しているのか?



ったりめーだろ!
にや たとえ
めだかちゃんじゃ
なくっても!

人間が人間を洗脳なんかして
ににわけねーだろぅが!!

俺かにその異常性を使えば
誰でも言ひなりに
できるだろぅけどよ!

あんた
そんなことして
楽しいのか?

めだかちゃんが
めだかちゃんじゃ
なくなったら!
そんなのもう
めだかちゃんじゃねーだろ!!

ふむ
ためになる意見だ
聞いておこう

だが ヒトキチ
お前だってその点においては
偉大なる俺と大差なからうや

あ?



お前だって内心
黒神めだかには

変わってほしかったん
じゃないのか？



……な
何を
言って……

黒神が萬千穂と
殴り合いを始めた時

そんなことをしている
場合じゃないと
思わなかったか？

幸徳相手に
泣いてしまった時は
どうだ？

名瀬の屋敷に
まんまと興せられた
時は？



お前達は
あの女の機嫌をまでに
正し過ぎる人格を

矯正したいと
思ったことがないと
本当に言えるのか？

「変に理想を
かかけるのをやめて」

「現実を見て」

「普通の女の子に
なってほしい」

行儀では
ないが

俺には お前達の
そんな声が聞こえるぞ

カツノ

そりや確かに俺達は
ゆづもめたかちゃんに
振り回されてるよ！

ゆづ加減にしろって
すっげー難ってま
けどな！

だけど！
だからって逆襲してゆづ
田には
ならねー！ つつてんだよ！

えへへ！

呪えるわー
人吉くん

黒神さんの
やることなすことに
俺が一番
反対してきた俺に☆

俺等は生徒会に
入ることさえ拒んでいた
輩なのに

今じゃ反対も
口だけじゃないか

一体いつから
そんな重なり男に
なっちゃったのかなあ？

ひょっとして
君の方こそ

黒神めだかに
洗脳されちゃってるん
じゃない？

!!

周囲への影響力の強さというなら
黒神も王土も大して
変わらないよ

王土が心を練るように！
黒神は数々の人間を
改心させて——
心を改めてきたんだからね

それは
許されること
なのかな？

「だけど、
だけどめだかちゃんは
正しい！」

正しいと
感じる
ほどにカ

正しいければ
許されることは
何たる価値だ

王でもないくせに
思い上がるな
阿呆が！

へー

でー

めだかちゃん……

いえ人言くん

だからって——
ではありません

!?

これまでの私は
愚かでした

正しいと
感じる
私は

何かの間違った
のです

おやおや

なんだ
来たのか

黒神めだか

黒神めだかでは
ありません

黒神めだか(改)
です





黒神めだかでは
ありません

黒神めだか(改)
です

だい 50 箱

「めだかちゃんの敵だ」



私は既に
あなたがたの知る
私ではありません

いまや
私は私ではなく
私であり

かつていた
優しい風神めだかは
永遠に失われました

.....
//
風神のイサナは、
あんなに優しい
人だとは思って
いなかった
風かの家裏つて、
どうもねえ

つまり
本当に人格を
心ですつかり
変えられちまつたん
だ！

都城先輩！

てめえ！

めだかちゃんに
何をした！！

さっきから
何度も
言っておろう

だから
洗脳だよ

いえ
都城さん

洗脳では
ありません

私は洗脳など
されていません

ただ

目が醒めた
だけです

見知らぬ他人の殺に立つため
生まれてきたという
悪夢のような妄想から

私は十三年ぶりに
醒めました

ふん

確かにそうかも知れない

偉大なる権は
当初この女を
自分好みの悪女に
仕立て上げるつもりでいた

がしかし――

結果として
もつはならなかった

別に
失敗したわけではない
むしろ成功だ

予定より早く作事を
終えられたのが喜ばしい

まるでこの心算

断念を待つ暇もなく
黒神の内側に押し込められて
いた方のように――

人吉書生

阿久根高貴書記

高貴馬もがな會計

これより
生徒会執行部は
フラスコ計画に
全面協力します

私は
「F」組の十人に
加入し

計画の完遂を
目指します



な...
何言っただよ
お前！

ふざけんな！
何言っただよ
お前！！

真の敵な
ことですよ

以前の私こそ
よっぽどふざけたことを
言っていたでは
ありませんか

私は私を
完成させるために
生まれてきました

私という
類稀なる至高の存在を
完成させることこそ
私の使命

そのために
フラスコ計画を
利用するのです



人間の完成を目的とする
フラスコ計画を
己の完成のために
利用しようとはな

なるほど...
どうやら理解できたよ

あれは十三年前
自分の真性性に
振り回されていた頃の
めだかちゃんだ

つまり
我輩というより
悪魔に近い



己の両肩を制する
めだかちゃんの心を掴むにすると
どうなるのかというのが
くじらちゃんの実験だった
ようだけれど
(彼先導えないにも荷がある)

エゴの塊であり
言うなれば「支配」そのものである
王土くんから
直接的な干渉を受けることで

むしろ異常性の乃が
心を支配してしまつた結果が
今のめだかちゃんなんだ

ふんとは
お前さんの
ものだ

「フラスコ計画」を潰さうと
張り込んできためだかちゃん(が)
「十三人」に加入したいと
言い出すなんて

理事会にしてありや
無いし計算だろうね
それともやつぱり
計算通りのものか

生徒会をあげて
フラスコ計画に
協力するのだと

黒猫も休み休み言え
めだかちゃん!!

めだかちゃんでは
ありません

めだかちゃん(改)
です

自分が
何を言ってるか
わかってるんですか?

フラスコ計画は!
全校生徒を犠牲にしかねない
危険な実験なんですよ?

それが
どうしましたか?

諸君! 貴国生は
生徒会長たる私の完成に
役立てることを
先陣に務めべきです



私の意思に
賛同できないというのなら
それもよいでしょう

他人の気持ちに
関心はありません

なんですか
あなたがたは
先ほだから
文句ばかり



無論先輩が
今どんな気持ちで
聞つてると思うのよう

みんな
黒神さんを助けよう
とがんばつて――



ひとよしせんあしあしあむ
人吉善吉庶務
阿久根高貴書記
喜界島もがな会計

げんじつをもちて
現時刻をもつて
あなたがたを
生徒会執行部から
解任します



私の役に
立たない人間は

必要
ありませんから







悪いな

俺達は何があっても
生徒会はやめないって

昔お前と
約束したんだよ



確かに
変わってほしいと
思ったことは
なくはないですが

俺達はあなたに
変わり果ててほしかった
わけじゃありません

自分のことしか考えない
黒神さんなんて

悲しくって
見てられないよ



なるほど
お前はめだかちゃんじゃ
ねえ

めだかちゃんの
敵だ

ゆえに
俺達が！

黒神めだかに
代わって

生徒会を
執行する！！



ヒザマズキ
跪き
ナ
ナ
サイ
イ
。





「何々しいだなんて、めだかさんなら口をきけても言わないセリフだな」



「私達の知る黒神さんは……」



やはりあのような人達など

あのような心など異性には余計だったのですわ

重い荷物を降ろしたような

金庫になったような清々しい気分ですよ



「めだかちゃん(改)です」

「めだかちゃんではありません」

「その声はお兄様ですね——どこに隠れておいでですか？」



それはどうか

めだかちゃん



「何を言っているのですお兄様」

「私の中に既に心は欠片も残っていません」

「私は心なき人です」



「どこだっていいだろう？ そんなことよりめだかちゃん」

「お前は荷物を降ろせてなんていないよ」

そうかい

だったら
どうして
お前は
泣いてるの

かな

え



優しく心と
叫ぶんだよ

心ある人は
その涙のことを



これは……
何？

涙……
ですか？



くじらちゃんにも
言っただけだね

人種を
リセットすることなんて
できないのさ

記憶を消しても
心を消しても
どこかに欠片は
残るんだ



私の

思い出――



愛心しなさい
めだかちゃん

十三年前の
思い出は

お前の中から
流れてなくなったりは
しない――



そしてお前の中に
まだめだかちゃんか
こもつてゐるってんなら
話は早いぜ

俺は異常性を
倒して

無印の
黒神めだかを
取り戻す!!

.....
くだらない

涙など

根界にゴミが
入っただけです



「^{わたし} ^{おれ} ^た ^つ ^た ^ら ^わ ^た ^し ^に ^お ^し ^え ^る ^が ^よ ^い」





ふん

するまじい
闘り合いだなー
偉大なる魂をして
圧巻と言わしめるよ



ふん、古書で
十三人内で
最強の女を自負する
お前だ

ひん
あそこ交じって
遊んでくれ

やだなあ

意味不明
言わないうたらしいよ
王土さん



あのふたりの間に
割って入れる奴なんて

銀河系に
ひとりもいませんって





ひたひたに
人吉！

大々大だ

浅いよ



だが……
やはりと言うべきか

反射神経を身につけ
攻撃を避けるようになった
めだかさんを相手取るには

人吉くんじゃあ
まだ未熟だ！





……
だけど
僕を含めて
めだかちゃんに

何かを教えてあげられる
奴なんて
いなかったんだ――

カッノ

空の注射器を
いくら突き刺したって
俺は倒れねーし
俺は倒せねーぞノ

もっと本気で
ぶつかってきやがれ
めだかちゃん(改)ノ

……
既に本気は
出している

こまりだ

切ないものであるこの男を
攻撃するのには
注射器があるわけでもない

そこで闘争するようには
部隊さんの手によって
削除されているのだから

ただ
私はもういづれは
知っている

この男を倒り続ける
無意味さを知っている

ひよしげんき
人吉善吉は
誰に何を
されたか知らず

決して己を
曲げることはないのだ

さあ、またまたおいていて
記憶が戻らなくて
いないのだから

その足元と橋本の
定まらない感じは

私の動きから
情報を読み取っている
ではない

私はまだ
その場から動かない

私は完全に
私に任せるはずだ

はい、はい、はい
はい

私はまだ動かない、はい
はい、はい、はい

はい、はい、はい
はい、はい、はい
はい、はい、はい

十五年前

私が生まれると
同時に

母が死んだ。

別に悪くても
なんでもない
健全な出産だった
そうなのだが

彼女が私の産声を
聞いたところで
ほつくりと心臓停脈を起して
この世を去ったのだって

その姓を
初めて聞いた時

「それじゃあまるで
彼女が私を産むためだけに
生まれてきて、
役目を全うしたから
死んだみたいじゃないか、」

と思った

その後、私は
黒神家に引き取られた

初めて会う父も
血の繋がらない母も
戸籍上の養兄・養母も
みんないい人だったけれど

零れ落ちた私の受け皿として
黒神グループという入れ物が
あらかじめ用意されていたかの
ように

少し気持ち悪かったのを
憶えている



そして中味の成体は
外見以上だった

黒神家の書庫にあった
蔵書を三月分がかりで
全て読み終えて

一蔵の誕生日を
迎える前に私は

既に今と大して変わらない
知識量の中身に
詰め込んでいた



最初、大人達は
そんな私を
もてはやしたけれど



すぐに興味が
みんななくなつた



ある時
父の友人だといふ
数学者から
相談を受けた

私は張り切つて
彼の抱える問題を
解いてあげた

母の顔に
驚いた表情が
見えたのだ

彼は直後に驚め先に
辞表を出したようだ



おにおに
どうした
襲てんのか！

動きが鈍ってんぜ
めだかちゃん(改)!!

その数字者の
ことだけじゃない

多くの大人の
人生を

私の存在は
縛わらせた

あの人造の
たゆまぬ努力や
必死のがんばりは

私に出会って
挫折するために
していたことだったのかと
思うと

かなり
切なくて

でも別に
感想はなかった

ただ
そういう人々がある度に

うじゃあ私は
何のために生まれてきた
のだろうかと

おもむきに私は
迷えてしまうのだと

自分を奮立たせ
思ったことは一度もない

だけど周りのみんなが
悪かに見えなかったと
思えば嘘になる

そんな自分を
重たいと思い

すべてがわかる私にも
重たい私が生きている
原田だけはわからなかった



「一瞬」になって
初めてのお出かけ

連れて行かれた先は
病院だった

「病」と「方」を
重ねたわけではない

むしろ私の肉体は
健康すぎるほど健康だった

そこは私あたいた
「異常」な子供が
集められる医療機関で

私達の「異常性」が
何のためにあるのかを
検査するための
場所だったのである

今にして思えば
「アリス」野田に逢える
何さじかの確率だったのだから

私にわからぬことが
お医者さんにわかるとは
思えなかつたけれど

それでももしかしたら
私が母のために
生まれてきたのかを
覚えてくれるかも
しれないと思うと

ちよつびり
わくわくした

のだが

「まったく」
「なんのためだ
なんて」

「みんな
大人のくせに」
「例外だよええ」

「人間は
無意味に
生まれて」

「無関係に
生きて」

「無価値に死ぬに
決まってるのにさ」

「きみも
そう思うだろう？」

「えーと」

「めだかちゃん？」

くまがわみき

球磨川
くーん

五番検査室に
入ってくれるー？

「園中きみは
なにをしても
いいんだ」

「いいんだよ
それで」

「きみもきいて
いっぱい人を誘わせて
ここに來たんだよね」

『だって世界には
目標なんてなくて』

『人生には目的なんて
ないんだから』



その少年を照らけたのは
その一回が最後だった

照らされた
闇を吐いた少年

彼は異次元へと入りこんだ
すぐに帰還をやめたそうだと

対照的に私は
満腹を感ぜなければ

しかしそれは
無駄だと感じつつは
ここにいた



人間は
無意味に生まれて
無意味に生きて
無意味に死ぬ

「世界には白痴なんてなくて
人生には目的なんてない」

それ以上に
正しい面があるとは
考えられなかったからだ



田の死も
みんなの持訴も
私のせいじゃない

そう考えれば
心が安らいで

とても楽に
なれるのだから



だから昨日のように
ならだらと聞く態度で
嫌気が差して

その日 私は得意室から
逃げ出した

おい！
13番——黒神めだかは
どこに行った!?

探せ!!

まだそんなに
遠くには
行ってないはずだ!



聞いて
聞きかけて
聞かなかった

聞いていたん
ですわー!

……
思ったよりも
大ごとになって
しまった

外に逃げるとは
どうやら無謀なようだ





ひとまず私が
逃げ込んだ先は
託児室だった

ス

病院に勤める
医者や看護婦が
勤務中にゆ子を
預ける施設である

早いタイムリッパが
よかつたおかげで

悪魔の中には
先客がひとりいる
だけだった

カチ

カチ

ほとんどの冷めるまで
ゆ子を暖めよう

私は先客に挨拶を
することだ

おい

そんな単純なパズルに
何をてこずっておる？

貴せ

カチ

カチ

私が
やってやる

裏の返つてみると
それは子供のおもちゃを
置いただけで

その時の私は
「裏返つたけどお
宝は引いても
裏められた行為では
ないけれど」

世間の世にたつては
自分の「裏返す」を思ふ
以外ではなかったのだ



そうすることではか
おは受け入れられ
なかった

たとはすくすく
空を飛ぶのをみては
なうた

ほら
解けたぞ

ほい

!!



さの返つ
すこいねきー

うんうん
解けたぞ

あひがき
すくすく
うわしいよー

三礼には
及ばない

私にとっては
取るに足りないことだ

じゃあ
じゃあきー

これも
解いてよ!!



きつと
きみは

みんなを

幸せにするために

生まれてきたんだよ！





そっか

貴様は
もう覚えていない
だろうけど

私という私は
あの言葉から
始まったんだ

善吉が
生きる意味を
教えてくれたから

私は私に
なつたんだよ

감동인걸



・じつはこはみだ
給せんせいおつかいさ。



きつと
きみは

みんなを
幸せにするために
生まれてきたんだよ！



きみは

思い出した

西

それはあまりにも
前振過ぎで――

私にとっては
思い出でさえなかった



西

……

？

私を私に
してくれたのは
あなたのおかげだよ

だけだ

お母さん
お母さん

悪い出そうが
気付くうが
今更 何も愛わらない

なるほど
それは美しい
記憶をけれたも

私はもう
洗脳しているし
洗脳しているのだ

第52箱

「お前は何のために生まれてきた？」

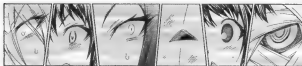
私は私を
完成させるために
生まれてきました

人吉くん

十三年前
あなたが私に
与えてくれた意味など
もう必要ありません

おい
めだかちや——





どうやら
アラが外れた
ようだな

真黒くん

「あははは、
アツミミ、みたいたね
王土くん！」

さんねん！

「僕の敵射よりも
さあ、洗脳の方が
よかったですね、さあ、
後はいよ」

ふん

「どうだ、真黒くん？
この際、お前も
フラスコ計画に
戻ってこないか？」

「今回の件で
いくつか空席が
できたからな」

「偉大なる俺が
偉大に勧誘するぞ」

「それもいいかも
ねえ」

「俺を二人も
失って」

「今の俺は
世界を滅ぼしたいくらい
気分だからね」





申し訳ありませんが
このままとどめを
刺させていただきます

この鬱陶しい涙を
止めるためには

それしか方法が
なさそうなので



あなた
過去を
抹消して

私は更に
完成に近づく





お前はみんなを
幸せにするために
生まれてきたとか

たぶん
そういうことを
言ったんじゃないの？



人面へん
人面へん

あなた

おはえて

だから
おはえてねーっ
っの

ただ俺は
風神めだかは
そーゆー奴だっけ

初めて会った時から
ずっと
今でもさ
信じてるっただけだ



あああああ
あああああ
あつ!!



な…
なんだあれ…

電火…!!



百ノボクには
わかるんだからね
あれは電火波!

つまりまさか
あいつ!
倒しられぬ!!

あのポケモン女
自分で自分を
洗脳し直すつもりだ！

王土にされたように！

電磁波を脳に
直接放射して！！



「確かに
洗脳の要素が
入っているが
電磁波による洗脳も
可能だろうが」
しかしそれは
あくまで推測だ！

洗脳には過度な
痛覚が必要なんだ

それをあんな
乱暴に力づくでなんて...

洗脳死とは
言わねーけどよ

あのままじゃ
頭空っぽに
なっちゃうぜ！



ああああ

あああ



やめろ。



見るに耐えないとか
言って逃げかった

そこまでして
先に戻ってほしくは
なーよ

人吉くん

でも



ったくー
お前は洗脳されても
そういうところ
全然変わらなーな

みんなを
幸せにするために

お前が
傷ついたり

痛い思いしたり

泣いたりすることは
なーんだよ



みんなの
中には

お前もちゃんと
入ってるんだから

カッ

じっ

みんなを
幸せにするためには

まずはお前が
幸せにならなきゃな





めだかちゃん(改)
ではない



め
めだかちゃん(改)
り

えーつと
あれ

めだかちゃん
と

呼ぶがよい
!!



黒神さん…

めだかさん…

おぼろけだ！

戻ったあ

っ!!



平敷を
かけたな

悪
吉

はあ？
いつものことだよ
知らぬーな

めだからやん

ところで

お前は
何のために
生まれてきた？

むろん

みんなと
一緒に！

私も
幸せになる！！

見知らぬ他人の
役に立つため

なるほど——
いつの間にか行橋先輩の
感受性も身につけてたんだな
黒神の叔

近距離で隣り合ったり
直接抱き合ったりすることぞ
人吉の持つ黒神徳が
伝達して

それで洗脳が
解けたってわけだ

ま、多かれ少なかれ
人間同士は互いに
洗脳しあっているような
もんだし

別に聞くほどの
ことじゃねーや

おやおや
無粋だねえ
くじらちゃん

あんな感動的な
光景を異変性で
説明しようだなんて

安心しなさい

そういうことを
言っている間は

お前は一生
不浄だから

確かに僕の解結結果も
お前と似たり寄ったり
だけぞ

今はとても幸せで
それを言う気には
なれないな

口をういて出るのは
ただただ

感謝の言葉
ばかりだよ

善吉くん

君が

めだかちゃんの隣に
いてくれて
本当によかった



まあ、そこそこ
ためになる
道具だった

お前達の神には
感謝したよ



では、愚神のだから

俺達もそろそろ
下換したいし

最後の実験を
始めようぜ

よからう

プラスコ計画を
叩き潰し

もちろん貴様達も
幸せにしてやろう!!



【5】お前は何のために生まれてきた?」(完)

喜界島ればーと
あぶの一まるこれくしょん④

なぜようか
『ぶらっくほわい』

しりょうたいぶ

ほんにんは
たなかわなしけと
ひとを
つよくしたりよわくしたり。

じょうみゃくちゅうしゃも
きんにくちゅうしゃも
おもいのまま。

じつは
どうぶつがとてし
すきみたい。
わかりあえないね！



喜界島ればと
あぶの一まるこれくしめんら

ゆくはしみぞう
『らびっとらびらんず』

じゃあもうしやうしやうをいふ

でんじはをしせん
できるんだ。
だからひとのかんがえ
てることがわかるし
きがいとさえがいやが
できるよ。

でもげーぜんて
あそんでるだけで
しごとになるって
うらやましいよね。



喜界島ればーと
まけいぬこれくしょん①

うんぜんみょうり
『もんすたーちん ちん』

ばんのうたいぶ

あぶの一まるにはめずら
しいばんのうたいぶ。
すべてののーりよくが
ぶっとなでるんだ。
でもまだおこさまだから
たいかくやらだいいりよく
やらをちえとどうぐで
おぎなってるかんんだね。

にんげんざらいのせりに
いがいと
せわやきだっけ。



喜界島れぼーと
まけいぬこれくしょん②

うんぜんみょうが
『うんぜんおね』

せんようたいは

たくさんのもてつきゅうを
ふりまわしてただかう
けどじつはてつきゅうは
ぶきではなくって
こうそくぐなんだ！
ていうかそれって
ふつうじゃん。

おとうとがせんぱい
になったことがしょくで
ひきにもったみたい。



喜界島ればーと
まけいぬこれくしょん3

なべしまねこみ
『はんそくおう』

ちりゃんたい

にくたいてきいば
ほんじんだけど
はんそくわざをくして
どんなあいてにも
たちもかうゆうき
あるむただ！

にんきもしんほうもある
けどたまにふんも
ひかすほどひきょう屋よ。

ていうかこのひと
せいとかいになんか
まけたことはない
けど。



喜界島ればーと
まけいぬこれくしょん④

おにがせはりがね
『てしよーめめけんめいおにがせ』

せんとうだしる

てきせんせいさい
しんしょうとする
せいぎのこだよ

もちるんすてき
そこそこ
たたかえるけど
あえててしよー
つかうのは
ふつぎいんとしての
こころがけなんだって。

めいわくなこころがけ
だね。



次巻、めだか VS 王土、決着!!



その死闘の果てに次なる――!!?

めだかボックス 第7巻

2010年

11月発売予定!!

■ジャンプ・コミックス

めだかボックス

⑤「お前は何のために 生まれてきた?」

2010年9月8日 第1刷発行

著 者 西 尾 維 新

©NISIOISIN 2010

曉 月 あ き ら

©Akira Akatsuki 2010

編 集 ホ ー ム 社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8450

電話 東京 03(5211)3651

発行人 鳥 嶋 和 彦

発行所 株式会社 集 英 社

東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8450

03(3230)4253(編集部)

電話 東京 03(3230)6191(販売部)

03(3230)4476(読者係)

Printed in Japan

印刷所 凸版印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁
(本のページ順序の間違いや抜け落ち)の場合は
お取り替え致します。購入された書店名を明記
して、集英社読者係宛にお送り下さい。送料は集
英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で
購入したもののについてはお取り替え出来ません。
本書の一部または全部を無断で複製、複製する
ことは、法律で認められた場合を除き、著作権
の侵害となります。

ISBN978-4-08-870106-6 C9979

